

草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和2年度「チクワワ県テレレ・ヘルスセンター建設計画」
起工式

2021年5月21日



(左) 定礎を行う池田次席とアビダ・ミア土地省副大臣
(右) プロジェクトの説明を受けるミア副大臣 (左)、池田次席 (中央) および
ベデ・チクワワ県議会議員 (右)



スピーチを行う池田次席 (左) とアビダ・ミア土地省副大臣 (右)



スピーチを行うベデ・チクワワ県議会議員 (左) とシェリファ・ミア、
Gift of the Givers 基金シニア・プログラム・マネージャー (右)



伝統的な踊りを披露するテレレ村青年グループ

2021年5月21日、チクワワ県ンガブ地区テレレ村において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「チクワワ県テレレ・ヘルスセンター建設計画」の起工式が行われました。本プロジェクトは、日本政府が Gift of the Givers 基金に対し供与した 90,532 米ドルを上限とする資金で、同地域に産科・母子医療および一般外来医療サービスに対応するヘルスセンターを新たに建設します。これにより、妊産婦が遠距離にある医療施設へ徒歩で通院する困窮状態が緩和されます。式典には、地元選出国会議員であるアビダ・ミア土地省副大臣も列席しました。

式典で池田次席は、本ヘルスセンターへ医療機器の導入および医療従事者の派遣を確約したマラウイ政府保健省、また、医療従事者用住宅2棟および井戸の建設を確約したミア副大臣にも同様に感謝を述べました。さらに、保健省および地域社会に対して、高品質なヘルスセンターが建設されるように十分な監視および支援を要請しました。

最後に池田次席は、日本政府は引き続きマラウイへの支援を行うとともに、“誰一人取り残さない”社会の実現に向けた活動を継続すると述べ、半年後の本センター完成時には再び同地を訪問することを約束しました。